

会社名 EIZO株式会社
代表者名 代表取締役社長 実盛 祥隆
(コード番号 6737 東証第一部)
問合せ先 総務部長 比良 浄敬
電話番号 076(275)4121

CO₂排出削減目標の達成を前倒し

～2030 年度から 2021 年度へ～

EIZO株式会社(本社:石川県白山市、代表取締役社長:実盛 祥隆)は、グループ内の国内主要拠点におけるグリーン電力*の導入率を50%に引き上げました。これにより当社が2018年度に設定した2030年度CO₂排出削減目標を2021年度中に前倒しで達成見込みです。引き続き、製品づくりと事業活動の両面で更なる環境負荷の低減及びCO₂排出削減に取り組んでまいります。

*太陽光、風力、バイオマス、水力、地熱など自然を利用した「再生可能エネルギー」によって発電された電力をいいます。

1. 取組みの背景と内容

当社は、「映像を通じて豊かな未来社会を実現する」ことを企業理念として掲げ、この理念に沿って策定したEIZOグループ行動指針を、当社CSRの基本方針としております。そのなかでも環境負荷低減については重要課題の1つとしてCSR中期目標に組み込み、2019年度に認証取得したISO50001によるエネルギーマネジメントシステムも活用しながら、エネルギー消費の削減とCO₂の排出削減に取り組んでおります。

■CSR中期目標

カテゴリ	中期目標
環境	環境負荷低減の加速 【製品】:業界最先端の環境対応 【事業活動】:2030年度までにCO ₂ 排出量を50%削減(2017年度比)
社会	サプライチェーンと一体となったCSRの推進 誰もが生き生きと活躍できる職場環境の構築
ビジネスモデル	Imaging Chainによる新たな価値で社会貢献を

その施策の1つが、グリーン電力の活用であり、2020年4月から国内主要拠点である当社本社・工場並びにEIZOエムエス株式会社(羽咋工場及び七尾工場)における使用電力(2019年度実績:約921万kWh/年)のうち10%をグリーン電力に切替えて調達してきました。さらに同年10月からグリーン電力導入率を50%に引き上げ、これら主要拠点から排出するCO₂を年間約3,100t-CO₂(2017年度比:約55%)削減することが可能となります。この結果、2021年度中には上記のCO₂排出削減目標を達成できる見込みです。

また、海外グループ会社においてもグリーン電力の導入を進めております。航空管制向けモニターをはじめとするV&S(Vertical & Specific)市場向け映像機器等の開発・生産を行うドイツのグループ会社「EIZO Technologies GmbH」でも、本社・工場の拡張移転の際に環境負荷低減の取組みを進めており、2021年1月から使用電力の100%をグリーン電力に切替える予定です。

2. 今後に向けて

上記のCO₂排出削減目標の達成見込みを受け、削減目標を新たに設定し、2040年度にはCO₂排出ゼロを目指すこととしました。今後とも、国内外のグループ全体にて、更なる環境負荷の低減に向けて取組んでまいります。

■EIZOグループCO₂排出削減目標

2030年度	CO ₂ 排出量を70%削減
2040年度	CO ₂ 排出量をゼロにする

■関連するSDGs



以上